

亀の子クラブ

NPO 法人環境ボランティアサークル 亀の子隊 通信

NO. 265 2023年5月25日号

発行責任 亀の子隊事務局

トヨタ紡織陸上部・生物多様性あいち学生プロジェクト「GAIA」参加

通算327回目の

西の浜クリーンアップ

2023年5月21日

参加者数 78名

ゴミの総重量 210Kg

キャップの数 762個



前日の激しい雨も上がり、緩やかな風が吹く中での活動となりました。浜には、大きなタイヤなどはなくペットボトルをはじめ、バケツが割れた欠片など様々なプラスチック片が目につきました。

その中には、「名鉄パレ」の買い物かご、「一色コトミ三河」と書かれたコンテナがありました。「名鉄パレ」はこの近くではどこにあるのでしょうか？バラバラになりそうな畳もありました。また、青い注射器もありました。青い注射器は珍しいです。医療ゴミですから、普通に考えればありえないゴミです。

活動中、見つかったのはゴミだけでなく、スナメリの体の骨、ウミガメのあご(?)の骨、ウミゾウメン(アメフラシのタマゴ)などこの海に生きる生き物の姿もありました。この海は、命豊かな海です。海に生きる生き物のためにも海ゴミは無くさなければなりません。ゴミは、人が作り出すものです。SDGs 12の目標に「つくる責任・つかう責任」があります。つくる側は今自然に還る素材でプラスチックをつくろうとしています。つかう側は責任をもって正しく処理をすることで、多くの海ゴミはなくなるでしょう。

トヨタ紡織のチームからの参加者には黒人の選手もいました。彼らを含めて紡織のメンバーもGAIAのメンバーも一生懸命拾ってくれました。

毎回、いろいろなところから参加者来てくれます。今回も、日進市、多治見市、名古屋市、豊川市、豊橋市、と名簿にありました。第一学院高校の生徒二人、グリーン海事さん、パチンコオータさんなど毎月来てくれている人もいます。



いる人もいます。

磯遊びの会

5月3日(水) 憲法記念日

本年度第一回目の海の環境を学ぶ会でした。



参加者55人。毎年参加している子もいて、たくさんの生き物が見つかりました。驚いたのは、大きなアメフラシが大量に見つかったことです。

中には、1CMもないような小さな魚や虫のようなものもつけてくれました。小さすぎて同定できないものばかりですが、こうした小さな命も生きていける磯です。汽水域となっていて多種の生き物が生きる貴重な磯です。

なごや環境大学共育講座～

渥美の磯で珍しい生き物を探そう

5月20日(土)

前日、当日のキャンセルもあり10組35人の参加。名古屋方面から2時間～2時間半かけて参加してくれます。リピーターも多い人気の講座。初めての参加者には、イソギンチャクに触ってもらいます。その感触に、「キャー」と歓声が上がります。波打ち際の動石の下のカニを見



つけて「わあ、いたあ」と歓声。アマクサアメフラシも見つかり、2時間たっぷり楽しんでくれたようです。